

## 令和7年度弦月同窓会入会式 生徒代表挨拶

私たち第77回卒業生の弦月同窓会入会に際して、心強いお言葉をいただきありがとうございます。明日、私たちは宮崎大宮高校の生徒から弦月同窓会の一員へ加わります。長い歴史と誇り高い伝統を実感するとともにその一員になれることを心より嬉しく思います。

コロナウイルスに制限された中学校生活を終え、期待に胸を膨らませて高校生活が始まりました。しかし、通常通りの学校行事や当たり前の伝統を知らない私たちは先例がなく手がかりのないものを追求する日々。そんな中で当たり前を取り戻すことの困難に直面しながらも、自ら探求し、自ら行動を起こす。まさに「自主自立」の精神、「真美善」の行動範囲を実践する継承の形を生み出し、仲間との絆はより強固なものになりました。そこに、先輩方から受け継がれてきた宮崎大宮高等学校の在り方を見出すことができました。今後はこの精神や力を、社会の先頭に立ってより良い未来を切り拓いていくリーダーとして発揮していきます。

戦争、自然災害。私たちが高校生活を送った三年間で、世界は脅威の変遷によって、社会に対する理解が大きく変わりました。世界に広がるこのような複雑かつ多次元的な問題は、目に見えないものが相手であり、これからの私たちは立ち止まってしまうこともあるかもしれません。そんな時も「自主自立」の精神を兼ね備えた「真美善」の前向きな姿勢で、乗り越えることができると信じています。宮崎大宮高等学校で学んだことの意義をかみ締め、弦月同窓会の一員として進取果敢に物事に取り組むことをここに誓い、同窓会入会の挨拶といたします。

令和7年2月28日

卒業生代表 三澤 凜（3年E級）